



評価表

業務名: 令和6年度中国管内新洪水予測システム構築他業務

評価の着目点			判断基準	配点	A社	
参加表明者の経験及び能力	資格要件	技術部門登録	当該部門の建設コンサルタント登録等	下記の順位で評価する。 ① 当該業務に関する部門(河川、砂防及び海岸・海洋部門)の登録(土木関係建設コンサルタント業務にあっては建設コンサルタント登録、地質調査業務にあっては地質調査業者登録)あり。公益法人、独立行政法人、学校教育法に基づく大学又は同等と認められる機関。 ② ①の登録がない。 設計共同体の評価は全ての構成員の実績のうち優位なものをその設計共同体の評価値とする。	① 5 ② 0	河川、砂防及び海岸・海洋部門 ① 5.0
	専門技術力	成果の確実性	平成25年度以降に完了した同種業務の実績の有無	下記の順位で評価する。 ① 平成25年度以降、公示日までに完了した同種業務の実績がある。 設計共同体の評価は全ての構成員の実績のうち優位なものをその設計共同体の評価値とする。	① 8	平成30年度 中国地方洪水予測システム構築外業務 H31 中国地方整備局 河川部 同種 82 ① 8.0
	女性活躍		厚生労働大臣が認定する「えるぼし」、「くるみん」、「プラチナくるみん」の設定の有無	下記の順位で評価する。 ①「えるぼし」、「くるみん」、「プラチナくるみん」のいずれかの認定を受けている。 ② ①に該当しない。	① 2 ② 0	プラチナくるみん ① 2.0
	専門技術力	成果の確実性	令和3年度から令和4年度までの業務実績	I、II、IIIの順で評価する。 I. 令和3年度から令和4年度末までに完了した業務において、国土交通省各地方整備局、北海道開発局及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注のテクリスに登録された「主な業務の内容:調査設計業務/業務分野:河川、砂防及び海岸部門」の平均業務評点(小数第一位以下切捨)を下記の順位で評価する。 ① 80点以上 ② 79点~71点 ③ 70点以下 II. Iの実績がない場合、海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度により認定された業務実績に、3.1)③に記載する同種業務の実績がある場合は、中国地方整備局における令和4年度に完了した土木関係建設コンサルタント業務の平均業務評点を評価対象とし、項目別配点に1/2を乗じた配点とする。 III. I及びIIの実績がない場合には加算しない。 設計共同体の評価は全ての構成員の実績を評価対象とする。	① 30 ② 27~3 (平均業務評点点に応じて比例配分、小数第二位四捨五入) ③ 0	79 ② 27.0
	専門技術力	成果の確実性	令和3年度から令和4年度までの業務表彰の有無	令和3年度から令和4年度末までに完了した業務のうち、国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注業務のうち、業種区分が土木関係建設コンサルタント業務の優良業務表彰の経験について、下記の順位で評価する。 ① 局長表彰の実績がある。 ② ①の実績がなく、事務所長表彰又は部長表彰の実績がある。 ③ ①②の実績がない。 設計共同体の評価は全ての構成員の実績のうち優位なものをその設計共同体の評価値とする。	① 5 ② 3 ③ 0	有り ① 局長表彰【R4】(関東地方整備局長) 5.0
小計						47.0
				技術者	管理技術者	
				年齢	36	
予定管理技術者の経験及び能力	資格要件	技術者資格	技術者資格、その専門分野の内容	下記の順位で評価する。 ① 技術士資格総合技術監理部門、建設一河川、砂防及び海岸・海洋、建設部門:河川、砂防及び海岸・海洋、博士(洪水予測)に関する研究実績を有する。 ② 国土交通省登録技術者資格(施設分野:河川・ダム・業務:計画、調査、設計)に該当する資格を有する。 ③ ①②の資格を有しない。	① 4 ② 2.4 ③ 0	技術士(H28) 総合技術監理部門 建設一河川、砂防及び海岸、海洋 ① 4.0
	専門技術力	業務執行技術力	平成25年度以降に完了した同種業務等の実績の有無	下記の順位で評価する。 ① 平成25年度以降、公示日までに完了した同種業務の実績、過去に洪水予測に関する研究実績、又は過去に同種業務をマネジメントした実務経験がある。 管理技術者あるいは担当技術者として従事した実績を評価対象とし、照査技術者として従事した実績は評価しない。ただし、対象期間中に産休育休等を取った場合は、産休育休等に相当する期間を業務実績を求めると期間に加えることができるものとする。また、対象となる業務実績については所属する会社は問わない。	① 9	平成30年度 中国洪水予測システム構築外業務 R1 中国地方整備局 河川部 同種 82 ① 9.0
	若手技術者	若手技術者	若手技術者の配置の有無	若手技術者の活用について下記の順位で評価する。 ① 管理技術者に若手技術者(満40歳以下)を配置する。 ② ①に該当しない。	① 2 ② 0	有り ① 2.0
	専門技術力	業務執行技術力	平成31年度から令和4年度までの業務実績	I、II、IIIの順で評価する。 I. 平成31年度から令和4年度末までに完了した業務において、国土交通省各地方整備局北海道開発局及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注のテクリスに登録された「主な業務の内容:調査設計業務/業務分野:河川、砂防及び海岸部門」の平均技術者評点(小数第一位以下切捨)を下記の順位で評価する。 ① 80点以上 ② 79点~71点 ③ 70点以下 II. Iの実績がない場合、海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度により認定された業務実績に、3.2)②に記載する同種業務の実績がある場合は、中国地方整備局における令和4年度に完了した土木建設コンサルタント業務の平均業務評点を評価対象とし、項目別配点に1/2を乗じた配点とする。 III. I及びIIの実績がない場合には加算しない。 管理技術者あるいは担当技術者として従事した実績を評価対象とし、照査技術者として従事した実績は評価しない。ただし、対象期間中に産休育休等を取った場合は、産休育休等に相当する期間を業務実績を求めると期間に加えることができるものとする。また、対象となる業務実績については所属する会社は問わない。	① 30 ② 27~3 (平均技術者評点点に応じて比例配分、小数第二位四捨五入) ③ 0	79 ① 27.0
	専門技術力	業務執行技術力	平成31年度から令和4年度までの技術者表彰の有無	I又はIIのいずれかで評価する。 I. 平成31年度から令和4年度末までに完了した国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注業務のうち、業種区分が土木関係建設コンサルタント業務の優秀技術者表彰の経験について、下記の順位で評価する。 ① 局長表彰(国土技術政策総合研究所長表彰及び国土地理院長表彰を含む)の実績がある。 ② ①の実績がなく、事務所長表彰又は部長表彰(国土地理院地方測量部長表彰を含む)の実績がある。 ③ ①②の実績がない。 II. 海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度に基づく表彰の経験について、下記の順位で評価する。 ① 海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣賞の実績がある。 ② ①の実績がなく、海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣奨励賞の実績がある。 ③ ①②の実績がない。 対象期間中に産休育休等を取った場合は、産休育休等に相当する期間を評価対象期間に加えることができるものとする。また、対象となる業務実績については所属する会社は問わない。	① 5 ② 3 ③ 0	無し - ③ 0.0
業務実施体制	業務実施体制の妥当性		下記項目に該当する場合には減点しない。 ① 主たる部分が再委託予定となっていない。 ② 業務の分担構成が、不明確又は不自然な場合。 ③ 設計共同体による場合で業務の分担構成が細分化され過ぎている場合、また一の分担業務を複数の構成員が実施することとしている場合。	数値化しない	0	
同種業務 : 洪水予測に関する業務				100	89.0	
研究 : 洪水予測に関する研究						